

# 会 議 報 告 書

<b>会議名</b>	令和元年度第1回 三郷市地域包括支援センター運営協議会		
<b>日 時</b>	令和元年6月27日(木) 午後1時30分～2時50分	<b>場 所</b>	健康福祉会館5階、501・502会議室
<b>次 第</b>	<p>1. 開会</p> <p>2. 職員紹介</p> <p>3. 議事</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 審議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副会長について</li> <li>・三郷市地域包括支援センター職員の変更等 について【資料1-1】～【資料1-5】</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">(2) 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度三郷市地域包括支援センター運営事業評価兼平成31年度三郷市地域包括支援センター運営事業計画(市)【資料2】</li> <li>・平成30年度三郷市地域包括支援センター運営事業評価兼平成31年度三郷市地域包括支援センター運営事業計画(センター)【資料3】</li> <li>・平成30年度三郷市地域包括支援センター運営事業実績報告【資料4】</li> <li>・平成30年度三郷市地域包括支援センター運営事業収支報告【資料5】</li> <li>・平成30年度中に対応した地域の特徴的な事例 概要【資料6】</li> </ul> <p>4. その他(連絡事項等)</p> <p>5. 閉会</p>		
<b>出席者</b>	<p>【会 長】谷口聡</p> <p>【委 員】海老原英之、鈴木昌弘、須藤政治、清水美代子、関根勲、松本博子、八塚俊雄</p> <p>【地域包括支援センター】長島所長(みずぬま)、樋口所長(早稲田)、矢口所長(ひこなり北)、石本所長(みさと中央)、佐藤所長(みさと南)、入澤所長(しんわ)</p> <p>【事務局】小暮勲(福祉部長)、森泰子(福祉部副部長) 齋藤衣子(ふくし総合支援課長)、原山千恵(長寿いきがい課長)、松井裕介(長寿いきがい課副参事) 吉井馨(長寿いきがい課長補佐兼長寿いきがい係長)、高橋浩(長寿いきがい課長補佐兼介護認定係長)、大山裕一郎(長寿いきがい課介護給付係長)、五十嵐順(ふくし総合相談室長兼総合相談係長)、元井隆幸(同地域包括係長)、八巻絢子(同 主査)</p> <p>【傍聴人】0人</p>		

**●審議事項における確認事項**

<b>議事</b>	<p>(1) 審議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副会長について・・・・・・・・・・板垣昭代氏が互選により選出</li> <li>・三郷市地域包括支援センター職員の変更等 について・・・・・・・・・・承認</li> </ul>
-----------	--

<p>(2) 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年度三郷市地域包括支援センター運営事業評価兼平成 31 年度三郷市地域包括支援センター運営事業計画 (市) . . . . . 承認</li> <li>平成 30 年度三郷市地域包括支援センター運営事業評価兼平成 31 年度三郷市地域包括支援センター運営事業計画 (センター) . . . . . 承認</li> <li>平成 30 年度三郷市地域包括支援センター運営事業実績報告 . . . . . 承認</li> <li>平成 30 年度三郷市地域包括支援センター運営事業収支報告 . . . . . 承認</li> <li>平成 30 年度中に対応した地域の特徴的な事例 概要 . . . . . 承認</li> </ul> <p>(3) その他 . . . 報告</p>	
<p><b>令和元年度第 1 回三郷市地域包括支援センター運営協議会 議事内容</b></p>	
<p>1 開会 (司会：齋藤課長)</p>	
<p>○小暮部長あいさつ ○谷口会長あいさつ</p>	
<p>2 職員紹介</p>	
<p>○地域包括支援センター所長紹介 ○事務局職員紹介</p>	
<p><b>(1) 審議</b></p> <p>・副会長について</p>	
司会(事務局)	本日は傍聴人なし。以後の進行を谷口会長にお願いします。
会長	本日の会議開催につき、三郷市地域包括支援センター運営協議会設置規則 (第 6 条) の規定により、半数以上の出席を持って会議を開催とあるが、本日は委員 10 名中 9 名出席のため会議は成立する。次第に沿って議事を進行する。副会長の選任についてである。事務局に説明をお願いします。
事務局	新副会長選出について説明
会長	この件に関して、意見はあるか。
海老原委員	会長一任でよろしいのではないか。
会長	会長一任という意見が出た。その他に意見はあるか。
出席委員	(意見なし)
会長	それでは副会長を板垣昭代氏に選任したいがよろしいか。
出席委員	(全員賛成)
会長	それでは副会長を板垣昭代氏に選任する。
事務局	板垣氏に事務局から選任の件を連絡させていただく。
<p>・三郷市地域包括支援センター職員の変更等 について【資料 1-1】～【資料 1-5】 (非公開)</p>	
承認	
<p>(2) 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年度三郷市地域包括支援センター運営事業評価兼平成 31 年度三郷市地域</li> </ul>	

<b>包括支援センター運営事業計画（市）【資料2】</b>	
会長	事務局に説明をお願いします。
事務局	<b>【資料2】</b> 説明
会長	この件に関して、意見や質問はあるか。
須藤委員	前年度（平成30年度）重点目標への評価中の①について、高齢者虐待では警察同行による立ち入り調査及び措置による世帯分離を行ったケースが2件あったとの報告だが、事例の内容を差し支えなければ伺いたい。また、他の事例で昨年度の措置入所に至った件数を伺いたい。
事務局	被虐待者と虐待者の関係について、それまで高齢者虐待で介入していたが共依存関係の強い世帯分離に至らない世帯であったため、警察の立会の下で世帯分離を行った事例である。昨年度の措置件数は概ね3件である。
会長	平成31年度重点目標概要中の②の職種について、欠員が出ないように検討課題に入るという事である。
事務局	欠員が出ないように、法人と連携を図る。
会長	他に意見や質問はあるか。
須藤委員	先ほどの質問に対する要望だが、高齢者虐待案件に関しては繊細な問題で踏み込みにくく、把握しきれない部分もあると考える。市から介護虐待などが起きないように、相談窓口として市役所関係各課の連携を深めていただき、警察、地域包括、居宅介護支援事業所の介護支援専門員の連携強化をお願いしたい。
会長	他に意見や質問のある委員はいるか。
出席委員	（質問・意見なし）
会長	それでは次の報告事項に移る。
<b>・平成30年度三郷市地域包括支援センター運営事業評価兼平成31年度三郷市地域包括支援センター運営事業計画（センター）【資料3】</b>	
会長	事務局に説明をお願いします。
事務局	<b>【資料3】</b> 説明
会長	意見、質問等はあるか。
出席委員	（質問・意見なし）
会長	それでは次の報告事項に移る。
<b>・平成30年度三郷市地域包括支援センター運営事業実績報告【資料4】</b>	
会長	事務局に説明をお願いします。
事務局	<b>【資料4】</b> 説明。6ページ目の資料修正、差し替え。
会長	この件に関して、意見、質問等はあるか
清水委員	各地域包括への相談件数の増加に伴い、職員の業務が増加している割にケアプランの委託件数が非常に少ないのではないかと。業務負担の軽減を図るとなると、ケアプランを委託に出すのみではないかと。委託すると費用が掛かるが、職員の業務負担を考慮すると委託に出し、負担が軽くなった分を他の業務に時間を費やす事も考えられるのではないかと。地域包括の方針として委託に出さないのか、それとも居宅介護支援事業所で受け入れが困難なのか。

会長	みさと中央は委託が0件だが、業務を圧迫していないのか。
みさと中央	職員全員が予防ケアプランを立案できる力をつけることを独自の方針としているため委託には出していない。他の業務は職員で協力しあいながら少しずつ進めている。
会長	みさと南は委託に222件出ているが、いかがか。
みさと南	委託を依頼したくても受託してくれる介護支援事業所が無い。要介護認定者を担当してもらえよう依頼するのが精一杯である。 昨年度は90件の要介護認定者を指定居宅介護支援事業所に依頼するも何件か断られた。職員の退職があったがその担当分を地域包括内で割り振りきれず、葛飾区や松戸市など市外の居宅介護支援事業所に委託を依頼している。何件も電話したが断られ苦慮している。 業務の半分程度を介護予防プラン作成で占めている。それ以外に総合相談も多く限界を感じる。
会長	居宅介護支援事業所の数自体も少なく、それも多くの担当件数を抱えており、ケアプランの委託を受けて貰えないようだ。居宅介護支援事業所の状況はいかがか。
須藤委員	上限いっぱいの39件を抱えている。40件以上になると報酬が減算となるため常に39件である。要支援者のケアプラン委託は受けていない。他の居宅介護支援事業所のケアマネジャーも平均的に30件程度を持っていて、減算覚悟でそれ以上受けている居宅もある。高齢化率26.49%に対し、三郷市はケアマネジャーの数の絶対数が不足している。
清水委員	地域包括の業務の圧迫が続けば、そのうち退職する職員が出てくる。解決方法の一つとして、地域包括の業務とは別にプランナーの人員を確保してはいかがか。3職種以外でも可能な業務であるので、包括職員の負担軽減を考えていただければと考える。
会長	予防プランナーの所属はどこになるのか。
清水委員	地域包括の中に予防プランのみ作成する専門部門を設立する。職員の職場環境も配慮する必要がある。
会長	他のテーマではいかがか。
須藤委員	みさと団地を抱えるみずぬまとひこなり北の電話対応が多いのが目立つ。電話対応に時間が割かれているのではないか。初動の電話対応の専門員を配置すると包括職員の負担軽減になるのではないか。
会長	電話件数に関しては計上方法により件数が異なる。昨年度の運営協議会でも同様の議題があったが、一概に比較できるものではないが件数は多いと思われる。地域包括の立場での意見はいかがか。
しんわ	時間外対応に関してだが、土曜日営業は各地域包括で統一されていない。一概に比較できないのではないかと感じている。
会長	週の営業日が違うため営業時間の長さも異なる。包括みさと中央は土日休業か。
みさと中央	基本的に休業だが、昨年度9月から試験的に土曜午前半日を営業した。
会長	55件は多いと感じた。それ以外に電話がかかってくるのがこれだけ多いとい

	う事か。
みさと中央	55 件には含めていない。平日 17 時半や 18 時、19 時以降の対応である。
会長	電話を掛けてくる相手はどのようなところが多いか。
みさと中央	電話対応ではなく訪問対応である。
会長	ひこなり北はいかがか。
ひこなり北	時間外対応は 15 件であるが、時間外の電話の件数に関してはもっと多い。計上しているのは訪問等の外出する事例である。昨年度から市より緊急時の時間外対応の加算が出るようになった。ただし、こちらは命に関わる状況や緊急性があるかという基準であるため、この件数と若干の差異がある。
会長	時間外緊急対応加算は命に係わる緊急時のみという事である。他に質問はあるか。
出席委員	(質問・意見なし)
会長	それでは次の報告事項に移る。
<b>平成 30 年度三郷市地域包括支援センター運営事業収支報告【資料 5】</b>	
会長	事務局に説明をお願いします。
事務局	【資料 5】説明
会長	この件に関して、質問・意見はあるか。八塚委員はいかがか。
八塚委員	事前に資料を拝見し、収支がマイナスの地域包括と丁度の地域包括がある。法人の経営努力によるのか。8 ページのひこなり北は黒字に見受けられる。
ひこなり北	法人からの補助がある。
八塚委員	法人からの繰入金は 0 になっている。
会長	例年、収支で懸案となるのが人件費である。職員を増やすと確実に赤字が増える。職員が少ない包括ほど赤字が少ない。
八塚委員	12 ページのみさと南は数字を見る限り支出が多くなっている。みずぬまも同様であるが、法人側で努力をされているように見受けられる。先ほど議題に出たプラン立案の専門員を配置すると、さらに人件費が出るのではないかと懸念される。
須藤委員	収入の部の一番上、地域包括運支援センター運営事業業務委託料に最大 400 万円開きがあるのはなぜか。
会長	事務局の説明をお願いします。
事務局	各地域包括委託料の算出方法によるものである。委託料については、3 職種人件費にプランナーの人件費を加算し、そこに運営費、事務費を加算した額から介護報酬という地域包括独自の収入がある場合は引いた額の支払いをしている。 計算式に則り算出しているが、プランナーの人件費とケアプラン作成見込み数が地域包括により差異があり数字に表れる。 今年度は市として認知症を重点目標に掲げ、認知症総合施策を進めていくため運営委託料と別に認知症地域支援推進員の業務を委託させていただいた。金額的には各地域包括あたり 150 万円強である。従来も認知症地域支援推進員の活

	動や各種会議に参加していただいた際には加算をお支払いしているが、推進員がより活動しやすくするために予算をつけたものである。
会長	各地域包括の職員は会議出席の手当はあるのか。
事務局	推進員の事業以外で、市が開催する地域包括ケアシステム構築関連の会議に出席した場合、1回あたり5,000円を委託料に加算している。
会長	市主催の会議のみという事ようだ。法人内で会議出席の手当が出る仕組みがあると良いが困難なようである。先ほどの認知症総合施策に関する手当という事か。
事務局	各地域包括に1名ずつ認知症地域支援推進員を配置し活動していただいている。従来の活動以外にも会議への出席等の活動を依頼しており、それらの活動費として週3日半日程度として金額を算出し、今年度は運営事業とは別に契約を結んでいる。
会長	他に質問はあるか。
出席委員	(質問・意見なし)
会長	それでは次の報告事項に移る。
<b>平成30年度中に対応した地域の特徴的な事例 概要【資料6】 (非公開)</b>	
承認	
<b>4. その他 (連絡事項等)</b>	
司会(事務局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○参考資料として平成31年4月1日現在の三郷市内の日常生活圏域ごとの高齢者・認定者を配付。</li> <li>○一部資料を回収</li> <li>○次回は11月21日(木)13時30分からの開催予定。</li> </ul>
<b>5. 閉会</b>	
○海老原委員あいさつ	